

令和4年度 学校図書館評価シート

足立区立花保中学校 校長 大久保 隆一

1 学校図書館の現状 (今年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 7957 冊 (蔵書基準冊数 7920 冊) / 蔵書率 100.4 % (前年度 109 %)									
	② 新規購入図書 348 冊 / 廃棄図書 442 冊 / 増減冊数 -94 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3 %	3 %	13 %	10 %	10 %	5 %	3 %	13 %	4 %	36 %
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間: 昼休み20分、放課後45分 (前年度からの変更 なし)									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.74 冊 (前年度: 6.67 冊)									
	③ 学校図書館利用率 174100 % (年間延べ利用者 1741 人、前年度 1660 人)									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況 (今年度総括)

新型コロナウイルス感染症対策での影響で学校図書館を活用した読書や調べ学習の機会が減少したが、全校読書イベントや読書週間の学年での読書活動が実施できたことにより、昨年度に比べ学校図書館貸出冊数、利用者がともに増加し、読書に親しむ生徒が増えた。昨年度より多くの生徒が調べる学習コンクールに参加し、学校図書館を利用して主体的に学ぶ力を身に付けることができた。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	① 図書館の利用方法を知る。 ② 目的に応じた読書活動、調べ学習ができる。 ③ 具体的な取り組みとして図書館オリエンテーションを行う。									
	今年度の成果目標					達成基準				
校外学習に際し、図書館資料を用いて調べる学習を行い、調べたことをまとめ、表現することができる。					<ul style="list-style-type: none"> 図書館オリエンテーションの実施 図書館を使った調べる学習の実施 					
目標達成状況										
<ul style="list-style-type: none"> ① 授業時間中に学年でオリエンテーションを行うことができた。 ② 職業についての調べ学習を行い、各自でまとめ、発表することができた。 ③ 5月に実施した読書アンケートでは1年生の図書室使用率は全体の5%であったが、オリエンテーション後は77%に増加した。 										
第2学年	① 自分に必要な情報を取捨選択し、学習に活用する。 ② 計画的に図書館を利用し、主体的に読書活動を行うことができる。 ③ 具体的な取り組みとして図書館オリエンテーションを行う。									
	今年度の成果目標					達成基準				
鎌倉校外学習の事前学習として、必要な情報を図書室の資料から選択し、調べたことをまとめる事ができる。					鎌倉についてテーマを決め、まとめたことを他者にわかりやすく表現し伝えることができる。					
目標達成状況										
<ul style="list-style-type: none"> ① 鎌倉について学習した内容を新聞形式にまとめ、学習展示会で発表することができた。 ② 授業時間中に2学年全体でオリエンテーションを行うことができた。 ③ 5月に実施した読書アンケートでは2年生の図書室利用者は全体の65%であったが、オリエンテーション後は76%に増加した。 										

第3学年	①収集した情報をまとめ、分かりやすく表現することができる。 ②授業内だけでなく、日常的に積極的な読書活動を行い、豊かな感性を育むことができる。
今年度の成果目標	達成基準
中学校卒業後の進路などについて、自らの問題や疑問に対して、積極的に調べ、解決することができる。また、それらの活動をまとめ、他者に分かりやすく効果的に伝えることができる。	受験や志望校に関する情報を図書室で調べ、まとめ、表現することができる。
目標達成状況	
①「図書館を利用した調べる学習コンクール」に応募、出品することができた。 ②志望校に関する情報をまとめ、学習展示会で発表することが出来た。 ③授業時間中に学年でオリエンテーションを行うことが出来た。(受講率100%)	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】 蔵書数は1類と3類を前年度比で1%増加させ、7類と9類を1%減少させて、各々国基準に近づけた。利用されていない40年前の大型美術全集他を破棄し、NDC順に配架し直したことで生徒から図書室が使い易くなったとの声が上がった。</p> <p>【学校図書館支援員との連携・協働】 図書室を利用した調べ学習時に生徒のリファレンスを依頼し、スムーズな調べ学習を行うことが出来た。</p> <p>【その他】 近隣の保塚図書館から「調べ学習用図書団体貸し出しサービス」を利用して学習用図書を確保した。</p>

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）
<p>コロナ禍で図書室の利用が制限されたが、教員と学校図書館支援員が協力し、国語の授業時間中に図書館オリエンテーションを全学年実施した。また、学校図書館を活用したイベントとして、「全校ビブリオバトル」「ブックラリー」を行い、読書活動の推進を図った。</p> <p>その結果として、「貸出返却利用数」が昨年度比40%増加し、利用人数・貸出冊数も増加した。今後も学校図書館支援員と協力し、生徒がより読書に親しめる機会をふやしていきたい。</p>

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）
<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業時に貸出冊数を増やすなど、こどもがより本に親しめるよう工夫してほしい。 ・古く劣化した本が多いので、新しい本との入れ替えを進めてほしい。

7 今後の展望 —課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて—
<ul style="list-style-type: none"> ・読書に興味のない生徒、読書の苦手な生徒も興味を持てるよう学校図書館を活用した啓発活動（読書イベント等）を実施し、より多くの生徒が本に親しめる学校図書館を目指す。 ・学校図書館資料の整理・更新及び図書館内の展示・掲示の充実を図り、生徒がより利用しやすい図書館環境を整備する。 ・教職員の図書館活用を促すため、学校全体に「学校図書館基本計画」における本校の方針を浸透させ、学校図書館支援員と連携しながらより良い学校図書館運営体制を構築する。 <p>以上の取り組みを通して生徒が主体的に学校図書館を活用した読書・学習を行い、創造的な活動ができる学校図書館を目指す。</p>